

平成24年度 新聞記事等一覧 (4月分)

| No. | 掲載年月日 | 媒体名 | 記事(番組)表題 | 記事(番組)概要 | 記事(番組)関係者等 |
|-----|-------|--------|--|--|-------------------------|
| 1 | 4月2日 | 朝日新聞 | 11面 私の視点 秋入学 東大まず研究の質上げよ | 東京農工大学の柴田元教授が、日本発明振興協会専務理事として、東京大学が秋入学へ全面的移行の素案を発表したのを受け、東大がやるべきは、世界が認める優秀な大学を目指して自己研さんに励み、世界の多くの人から引用される優れた論文を継続的に発信し続けなければならないと寄稿。 | 柴田 治呂 元教授 |
| 2 | 4月3日 | 毎日新聞 | 16面 遠藤さんが発明家殿堂入り | 東京農工大学の遠藤特別栄誉教授が、米非営利組織「発明家殿堂」の12年の殿堂入りに選出されたことを紹介。 | 遠藤 章 特別栄誉教授 |
| 3 | 4月5日 | 読売新聞 | 28面 春の園遊会招待者 (園遊会は19日赤坂御苑で) | 東京農工大学の遠藤特別栄誉教授が、春の園遊会【学術・教育・芸術関係】の招待者であることを一覽で紹介。 | 遠藤 章 特別栄誉教授 |
| 4 | 4月6日 | 科学新聞 | 6面 女子中高生に理系のすすめ 「進路選択」支援プログラム JSTが9件採択 | 東京農工大学の「理系女子応援プロジェクト～理系女子のキャリア教育」が、科学技術振興機構の平成24年度女子中高生の理系進路選択支援プログラムに採択されたことを紹介。 | 女性未来育成機構 |
| 5 | 4月6日 | 朝日新聞 | 32面 れつつ朝カル 立川教室の一押し講座 武蔵野の森の小道散策 | 東京農工大学の福嶋元教授が、朝日カルチャーセンター立川教室主催の「武蔵野の森を歩く」で講師を務めると紹介。 | 福嶋 司 元教授 |
| 6 | 4月10日 | NHK 総合 | TV おはよう日本 “絹の人工血管”～福井繊維メーカーの挑戦～ | 東京農工大学の朝倉教授が、福井県の繊維メーカーと共同で、絹を使ったヒトの人工血管を作る研究を進めていることを紹介。 | 工学研究院 朝倉 哲郎 教授 |
| 7 | 4月12日 | 日刊工業新聞 | 1面 日立、若手研究者を発掘 14大学からテーマ公募 | 日立製作所が、東京農工大学を含む組織的連携協定を結ぶ国内14大学の若手研究者向けに、5-10年先を見越した共同研究テーマの公募を始めたことを紹介。 | |
| 8 | 4月16日 | 日刊工業新聞 | 4面 卓見異見 市場創造、舞台裏に注目を 「ものづくり」経営 | 東京農工大学の松下教授が、わが国では「人口オーナス(重荷)」の局面を迎えており、「ものづくり」の土台であるプラットフォームシステムに注目し、「ものづくり」システムを支えるシステムの創造は、明日の技術経営の一大テーマであり知恵の絞りどころと寄稿。 | 工学府産業技術専攻 松下 博宣 教授 |
| 9 | 4月20日 | 日刊工業新聞 | 24面 大学活用法 企業の産学連携戦略(3) 日立製作所 絞り込みと長期視点を両立 | 東京農工大学が、「日立の国内大学の連携協定」の締結校として紹介。 | |
| 10 | 4月24日 | 日刊工業新聞 | 23面 植物研究助成 22件を選定 新技術開発財団 | 東京農工大学の星野准教授が、新技術開発財団の2012年度の植物研究助成を受ける紹介。 | 農学研究院 星野 義延 准教授 |
| 11 | 4月24日 | 日刊工業新聞 | 3面 シキボウ 能條氏 | 東京農工大学工学部卒業生の能條氏が、シキボウの新社長に就任すると紹介。 | 工学部 能條 武夫 氏 (卒業生) |
| 12 | 4月25日 | 日刊工業新聞 | 21面 課題に挑む[109] 技術士のソリューション 技術者教育16 ゲノム解析の進歩 | 東京農工大学の石井特任教授が、次世代シーケンサーや最新の質量分析装置を用いたゲノム解析、データ解析を行いたい学生を募集し、その方法を伝授する教育を開始した。今後、世界に通用するゲノム解析技術者の育成に努めると紹介。 | 農学府 石井 一夫 特任教授 |
| 13 | 4月25日 | 朝日新聞 | 29面 「伝統小松菜」パウダー考案 小金井周辺 大学生らのサークル 「名物の開発につなげたい」 | 東京農工大学工学府の勅使河原さんが代表を務める街おこしサークル「いがねこ」が、伝統小松菜を使ったパウダーを考案し、「新たな小金井ブランドの商品開発につなげたい」と紹介。 | 工学府 勅使河原 直人 氏 |

追加記事等 (2・3月分)

| No. | 掲載年月日 | 媒体名 | | 記事(番組)表題 | 記事(番組)概要 | 記事(番組)関係者等 | |
|-----|-------|--------------------|-----|--|--|--------------|-------------|
| 1 | 2月15日 | msn 産経ニュース | WEB | 【特許ウォーズⅡ～闘う大学】 (上)宝の持ち腐れ 7割以上休眠状態 | 文部科学省が昨年11月に公表した平成22年度の「国内大学の特許収入ランキング」で、トップに輝いたのは東京農工大学と紹介。 | | |
| 2 | 2月22日 | 日刊工業新聞 | 9面 | キャパシター開発加速 日本ケミコン 負極に新たな電極材 東京農工大と量産技術 エネ密度3倍に | 日本ケミコンが、2012年度中に負極に新しい電極材料を用いた次世代キャパシターをサンプル出荷すること、東京農工大学と共同開発した試作品を基に量産技術を確立したこと、これを機に同大学内に研究センターを設置し、高性能な電極材料の開発に着手することの紹介。 | | |
| 3 | 2月24日 | 科学新聞 | 6面 | 次世代キャパシタ 研究センター竣工 東京農工大に日本ケミコンが寄贈 | 東京農工大学の直井教授と次世代キャパシタの共同開発・実用化を行ってきた日本ケミコンが、同大学小金井ジャンパス内に、次世代キャパシタ研究センターを寄贈したと紹介。 | 工学研究院 | 直井 勝彦 教授 |
| 4 | 2月27日 | 日刊工業新聞 | 2面 | 社説 団塊退職後の国立大教員 女性、外国人など多様化進めよ | 競争的な環境は出産や育児を抱える若手の女性研究者に不利に働くと予想されるなかで、東京農工大学は、テニユアトラック初年度の採用22人中、女性が5人で、うち3人が期間中に育休を採っている実績があり、実際の研究期間に基づく評価や、研究補助者の手当てで支援したことが効いたと同大では考えていると紹介。 | 若手人材育成拠点 | |
| 5 | 2月29日 | 東京新聞 | 22面 | 都内大学の美術系サークルによる合同美術展「国公立展」 | 都内大学の美術系サークルによる合同美術展「国公立展」の開催案内。(参加大学として東京農工大学が掲載) | | |
| 6 | 3月1日 | 広報ふちゅう | 6面 | 官公庁から | 東京農工大学「プログラミング講習会」の開催案内。 | | |
| 7 | 3月1日 | 広報ふちゅう | 5面 | ひろば | 東京農工大学「リサイクル市」の開催案内。 | | |
| 8 | 3月3日 | 日本経済新聞 | 13面 | 大学管理にクラウド | 伊藤忠テクノソリューションズが、2010年3月から大学や教育機関に特化したクラウド方式の電子メールサービスを開始し、東京農工大学などが現在利用していると紹介。 | 総合情報メディアセンター | |
| 9 | 3月3日 | 読売新聞 | 37面 | 38大学・短大で不正経理 文科省調査 業者へ架空発注など | 文部科学省が、38の大学・短大と2研究機関で、物品を架空発注して業者に代金を預ける「預け金」などの研究費の不正経理が判明したと発表し、当該機関として、東京農工大学などが掲載。 | | |
| 10 | 3月3日 | 読売新聞 | 12面 | 遠藤氏、発明家の殿堂入り 東農工大教授 物質「スタチン」発見 | 米非営利団体「全米発明家殿堂」が、東京農工大学の遠藤特別栄誉教授が、発明家の殿堂入りすることを紹介。 | | 遠藤 章 特別栄誉教授 |
| 11 | 3月3日 | YOMIURI ONLINE | WEB | 遠藤氏、発明家の殿堂入り…ジョブズ氏らと並び | 米非営利団体「全米発明家殿堂」が、東京農工大学の遠藤特別栄誉教授が、発明家の殿堂入りすることを紹介。 | | 遠藤 章 特別栄誉教授 |
| 12 | 3月3日 | 朝日新聞 デジタル | WEB | 遠藤章教授、米の発明家殿堂入り ノーベル賞有力候補 | 米非営利組織「全米発明家殿堂」が、東京農工大学の遠藤特別栄誉教授が、発明家の殿堂入りすることを紹介。 | | 遠藤 章 特別栄誉教授 |
| 13 | 3月7日 | 日刊工業新聞 | 26面 | ◆外国人留学生の育成ゼミ 関東経済産業局 | 「アジア人材資金構想成果普及セミナー」の開催案内。(東京農工大学等が取組みの事例を発表する予定) | | |
| 14 | 3月9日 | 科学新聞 | 1面 | 公的研究費の運用調査 文科省 全国1179機関対象に実施 | 文部科学省が、全国1179機関に対して照会した結果、40の大学等で業者への預け金や研究室内のプール金など、不適切経理が行われたことが判明し、当該機関として東京農工大学などが掲載。 | | |
| 15 | 3月10日 | 読売新聞 | 32面 | 秋入学 多摩地区大学も検討 留学生増に利点 保護者負担 課題 | 多摩地区にキャンパスがある一橋大学、東京外国語大学、東京農工大学、首都大学東京、中央大学、法政大学、津田塾大学の国公立7大学に対し、秋入学についての考えを聞いたところ、6大学が「検討している」「今後検討したい」と前向きな姿勢を示したと紹介。 | | |
| 16 | 3月12日 | 化学工業日報 | WEB | 稲からバイオエタノール 農工大が実用化研究 | 東京農工大学と農業・生物系特定産業技術研究機構作物研究所が共同開発した飼料用水稲「リーフスター」を原料とした稲わらを使用しバイオエタノール製造技術の開発が進んでいると紹介。 | 農学研究院 | 大川 泰一郎 准教授 |
| 17 | 3月16日 | 東京新聞 | 2面 | 人事異動 文部科学省(4月1日) | 小畑前東京農工大学長が、4月1日付けで、独立行政法人国立高等専門学校機構理事長に就任すると掲載。 | | 小畑 秀文 前学長 |
| 18 | 3月16日 | ELISNET | WEB | 展示会/セミナー Technical Seminar 太陽電池の製造技術と高効率化技術 | 東京農工大学の土迫教授が、Technical Seminarで、結晶Si太陽電池の基礎から、現状と応用、将来展望、バックコンタクト型セルやヘテロ接合型セルなど、最新技術も含めて解説すると紹介。 | 工学研究院 | 土迫 浩一 教授 |
| 19 | 3月17日 | NHK Eテレ (教育テレビ) | TV | TVシンポジウム「ふるさと復権～あなたは農村をどう守りますか～」 | 東京農工大学の千賀教授が、過疎高齢化が進み農業の担い手が減る一方の農村で、「どうすれば故郷が元気に戻るのか」と題したテーマについて、パネリストとして出演。 | 農学研究院 | 千賀 裕太郎 教授 |
| 20 | 3月21日 | 日本農業新聞 e農net | WEB | 異色サークル「狩り部」狩猟 世に広めたい 東京農工大学 ・免許取得、銃でも捕獲も | 東京農工大学の農学系の学生を中心につくる「狩り部」が、鹿やイノシシなど野生鳥獣の狩猟を主とする全国でも異色のサークル活動を展開していると紹介。 | | |

追加記事等 (3月分)

| No. | 掲載年月日 | 媒体名 | 記事(番組)表題 | 記事(番組)概要 | 記事(番組)関係者等 |
|-----|-------|--------|--|---|---|
| 21 | 3月21日 | 農業共済新聞 | 1面 ひと意見 東京農工大学農学部教授 野見山 敏雄 地産地消と放射能リスク "科学的行動"で産地を応援 | 東京農工大学の野見山教授の東京電力福島第1原子力発電の事故に伴う食品等への放射能汚染に関する対策についての意見が紹介。 | 農学研究院 野見山 敏雄 教授 |
| 22 | 3月23日 | 日刊工業新聞 | 27面 東京農工大 農・工融合の大学院設立 日本型リーダー育成 食料・エネ 課題解決 イノベーション創出 | 東京農工大学が、食料・エネルギー分野の世界的な課題解決とイノベーション創出の人材を育成する「実践科学リーディング大学院」設立に動きだしたと紹介。これに関し、同大の松永学長及び千葉イノベーション推進機構長がコメント。 | 学長 イノベーション推進機構長 松永 是 学長 千葉 一裕 教授 |
| 23 | 3月23日 | 読売新聞 | 24面 教育ルネサンス リケジョを増やせ！ 6 経験伝える学内女子会 | 東京農工大学が、女子学生対象のメンター制度を2007年から実施し、農学系と工学系の全専攻から募った女性院生が、メンターとして後輩の相談に乗っていると紹介。 | 女性未来育成機構 |
| 24 | 3月26日 | 日刊工業新聞 | 1面 卓見異見 4月から新執筆陣 | 東京農工大学の松下教授が、卓見異見の執筆陣新メンバー4氏の1人として、略歴とともに紹介。 | 工学府産業技術専攻 松下 博宣 教授 |
| 25 | 3月26日 | 日刊工業新聞 | 18面 耐熱300度Cの絶縁材開発 ITMが二次電池向け | 東京農工大学の小山教授が、民間企業が開発したリチウムイオン二次電池用絶縁材(セパレーター)の評価試験を行い、絶縁材として機能することを確認したと紹介。 | 工学研究院 小山 昇 教授 |
| 26 | 3月29日 | 日刊工業新聞 | 27面 レーザー 大胆な発想が奏功 | 東京農工大学の千葉教授が、博士学生と教職員延べ150人が米国で企業向けイノベーション研修に参加したことに「大学向け研修という新事業のモデルケースに農工大を使ってと提案した」と紹介。実際に民間企業が事業を展開していることから、大胆な発想が必要という好例かと紹介。 | イノベーション推進機構長 千葉 一裕 教授 |
| 27 | 3月29日 | 毎日新聞 | 11面 固有種脅かす恐れ 被災地 花植え支援 識者らから懸念の声 | 東京農工大学の福嶋教授が、植生学会会長として、生態系を守りながら植物で被災地を支援する方法として、人為的に移した動植物が外来種になる場合があるため、プランターや鉢を贈ったり、花壇に植える方法を提案し、「そこに元々生えている植物から採った種や苗を使うのが望ましい」とコメント。 | 農学研究院 福嶋 司 教授 |